

# ゆきの灯り

令和7年

# 恭賀新年

新年のご挨拶

油木協働支援センター長 今 岡 一 憲

新年おめでとうございます。

旧年中は、油木協働支援センターの運営並びに行事等に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年につきましても、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染も落ち着き、「ゆきふるさとまつり」も再開2回目を、自治振興会をはじめ各種団体の方々や住民の皆様方のご理解とご協力をいただき、賑やかに開催することができ改めて感謝申し上げます。

また、油木地区の活性化として、旧百彩館周辺の賑わい創出のための「軽トラ朝市」の開催、地域文化向上のための「文化イベントや展示会」の開催、史跡・文化財等の掘り起こしのための「現地調査」、さらに、各々の部会に於いても、子どもから大人までを対象とした「生涯学習の教室、地域活動、世代間交流活動等」、それぞれの活動を積極的に取り組んでいただいています。

故西川功氏が遺された「化石・鉱石類」を展示公開する「にしかわ化石館」は、令和6年1月には開館以来県内外からの来館者がついに千人を超え、また、学校への実物体験学習としての出前授業の実施等、積極的に社会教育施設としての役割を果たしています。今後更に、「学習の拠点」となるよう一層の充実と啓発に努めて参ります。

第96号

令和7年1月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



本年も、各部会をはじめとして住民の皆様方の連携を図りながら、「住民主導の協働のまちづくり」を推進していきたいと思っております。改めて、住民の皆様からのご指導とともに、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

そして、本年が皆様にとりまして、幸せで平穏な年となりますようお祈りし、新年のご挨拶いたします。



巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。そのため「巳年は再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられるそうです。

文部科学省報道発表(令和6年12月25日)

## 令和6年末、ビッグニュースが飛び込んできました!

速報

第77回優良公民館(文部科学大臣表彰)に

油木協働支援センターが

選ばれました!!



油木協働支援センターの取り組みが、地域住民の学習活動に大きく貢献しているとして文部科学大臣より認められました。

## 油木サッカー教室/神石インターナショナルスクール

# サッカー交流会2



11月30日(土)、「油木サッカー教室」と「神石インターナショナルスクール」の交流会が開催されました。

今回は6月に続き開催された企画で、会場の油木小学校グラウンドは寒風の中ボールを追って走り回る子どもたちのプレイに、両チームの関係者の方々から大きな声援が送られていました。

当日は、低学年チーム・高学年チームとそれぞれ分かれて試合を行いました。両チーム共に楽しい思い出ができたようです。



## まちおこしセミナー

—地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり—

講師：特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ事務局長 高田新一郎さん

12月3日(火)、「地域でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」をテーマに、「まちおこしセミナー」(主催：未来創造課)が開催され、各自治振興会から23名が研修に参加しました。

講演では、域内唯一のスーパー閉店をきっかけに始まった山口市阿東地域の移動販売事業の話を中心に、「誰もが笑顔で安心して暮らし続けることの出来る故郷」を地域の将来ビジョンに設定した先進的な取り組み事例を学びました。

神石高原町全体を見渡しても「まちおこし課題」が山積しています。今回の研修内容が町内で共有され、現実問題に即した地域課題解決の一助となれば良いですね。



今回の出前講座には、中国新聞・御調ニュース(御調地区タウン紙)の取材もありました。

## 尾道市立御調西小学校にて2年連続

# 化石出前授業実施

12月13日(金)、「化石魅力化プロジェクト」が尾道市立御調西小学校での「化石出前授業」を実施しました。

これは尾道市河内公民館主催事業として昨年度に続いて要請を受けたもので、「化石クリーニング体験」を中心に理科の授業を行いました。子どもたちは「実物資料」に実際に触れて、化石や鉱石に興味・関心を持った様子で熱心に授業に取り組むことができました。

当日は、尾道市教育委員会井上生涯学習課長・御調中学校内海校長・青少年健全育成河内地区区民会議谷河会長が授業の様子を視察されました。

河内公民館は、今回の出前講座開催を含めた取り組みについて、「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり」フォーラム(1月15日)で実践発表をされます。



# 12月のゆきキッズ

12月の「ゆきキッズ」も、教室内で子どもたちの元気な姿が見られました。家庭でも団らん時に「キッズ」の話題で盛り上がりつつありますか？

## ■料理教室⑤（12月7日）

大西智子先生の指導で、「料理教室⑤」を開催しました。今回は「クリスマスケーキ」作りに挑戦し、生地から飾り付けまで協力して完成させることができました。



## ■蕎麦打ち教室（12月14日）

藤井優晴先生の指導で、「蕎麦打ち」を体験しました。地元産の蕎麦粉を使用して麺を作り、鶏肉からとった出汁を使い、出来上がった蕎麦を美味しくいただきました。



## ■お茶教室④（12月21日）

小田緑先生と神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で「お茶教室④」を開催しました。今回はクリスマス茶会として、クリスマス飾りを立て「立礼式」（座って行う）の作法を学びました。



「ゆきキッズ」を楽しく！

心温まる話題や行事、地域の自然や人々の表情など「元氣」の出るニュースを募集しています。明るく楽しい話題を共有しましょう。

油木協働支援センター

（☎：82・0701）



## 秘伝！大人の蕎麦打ち体験教室

12月11日（水）18日（水）、2回連続講座として前原孝史先生の指導で「蕎麦打ち体験教室」を開催しました。

お正月を前に、「蕎麦打ちの基本」を学び「蕎麦作りの楽しさ」を体験する教室には、講師秘伝の極意を得ようと、受講生が蕎麦打ち道具持参で参加しました。

水加減による蕎麦粉の練り方や、麺を細く均一に切る方法等の指導を受けながら蕎麦打ちのコツを学びました。

講座後の試食を通じて、新蕎麦粉を打って出来上がった蕎麦の満足感を得ることができたようでした。



（12月11日）



（12月18日）



お知らせ！ 3.16 詳細は後日！！ 佐々木リョウ再び！

## 油木小学校「人権の花」展

人権擁護委員会の取り組みである「人権の花」展が、油木コミュニティセンターロビーで開催されました。（11月11～30日）

これは油木小学校児童が自ら育てた「人権の花ヒヤシンス」を写生し、一言メッセージを添えた絵の展示です。センターを訪れた方々は、児童の温かい作品の数々に目を細められていました。



## 地域の「お宝」(にしかわ化石館)を守っていきましょう

「…同館を町立博物館に位置づけて、専門の職員を配置し、町内の自然遺産を活用する拠点施設として整備することを希望する。同館が大地の成り立ちや、生息する動植物の歴史について学べる生涯学習の場となること、神石高原町の魅力を発信し続けることとなる…」(科学の目育てた神石：松岡敬二 中国新聞より抜粋)

中国新聞 SEECT(R6.12.18)にて、松岡敬二先生(前豊橋市自然史博物館館長)から「にしかわ化石館」に係る、町へ対する提言をいただきました。「にしかわ化石館の教育的価値」を再考するための心強いアドバイスです。(記事については「中国新聞デジタル」のサイトからご覧いただけます)



一子育てで大事なことは、さじ加減 (参考：新潟県教育委員会・新潟県地域家庭教育推進協議会「家庭教育支援ハンドブック」)

★地域で子どもを見守り育てましょう (油木協働支援センター)

### 子育てで大事にしたい4つの要素

- 世話をすることは乳幼児には重要であるが、その子の成長に合わせて徐々に手を離し「自分のことは自分でできる」ように自立させていくことが大切。
- お手本を見せながら、ていねいに教えてできることを増やす。失敗しても責めず繰り返し教え、できたらほめることで自信をもたせることが必要。

世話

- 欲しい物が本当に必要なものか、一緒に考えることが大切。
- 欲しいものを何でも与えると、感謝する気持ちや物のありがたさや大切にすることが育ちにくい。
- 我慢することも心を成長させるためには必要。

授与

子育てでは「過保護はよくない」と言うけれど、どんなことに気をつけたらいいの？



子どもに合わせた さじ加減で上手に子育て

- 親は先回りして指示を出してしまいがちだが、失敗することも成長には必要と考えて見守る場面も大切。
- 指示されて行動することが多いと、自分で考えて行動する力が育ちにくい。
- 子どもは指示されて行動して失敗すると、自分の責任ではなく、ほかの人の制にするようになる。

指示

- その子自身を認め受容することが大切。
- 日頃の子どもの様子をよく見て、その子自身の思いや成長を受容し、ほかの人の迷惑を考えない自己中心的な行動は許さない毅然とした態度をとることが重要。

受容

